

大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）

（医歯理工先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい

記

演 題：超高齢社会における歯科医療の役割

講 師：恒石 美登里 先生

日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構 主任研究員

日 時：平成26年 1月20日（月）

16時00分～18時00分

場 所：1号館6階 歯学部 演習室3・4

講義要旨：

日本歯科医師会は、歯科医療が目指すべき方向として、「生活を支える歯科医療」を提言してきた。超高齢社会を迎えた日本において、平均寿命は延伸しているものの健康寿命が伸びておらず両者のかい離が問題となっている。

これまでの疫学研究から口腔の健康は、健康寿命の延伸やQOLの向上に寄与することが示されている。歯科職種に期待される役割は、歯科完結型の医療ではなく、他職種と連携し、全身の健康に寄与する医療へと変化している。本講義では超高齢化社会における歯科医療の役割について紹介する。

【連絡先】健康推進歯学分野 川口陽子（内線：5475）